

平成29年度 地域貢献活動推進フォーラム



開催日時 平成30年2月6日（火）

13:00～17:45

開催場所 奈良県文化会館 小ホール他

主 催 奈良県社会福祉法人共同事業運営理事会

開催趣旨

深刻化・多様化する福祉課題・生活課題等に対して、県内の社会福祉法人が連携・協働して、その解決に取り組んでいくことを目的に、平成28年6月に「奈良県社会福祉法人共同事業」が発足しました。

これまで、県内の88の社会福祉法人が参画し、少しずつですが、3つのリーディング事業を基盤に、制度の狭間の課題等の解決に向けて取り組みを進めているところです。

そこで今回、これまで取り組んできた実践の共有、成果・課題等の総括を行うとともに、社会福祉法人が連携・協働することの強みや広域ネットワークが果たす役割等について確認し、今後の方向性について検討を加えつつ、社会福祉法人の本旨として、更なる地域貢献活動の促進を図ることを目的に、本フォーラムを開催します。

また、本取り組みを広く県内に発信し、県内社会福祉法人の取り組みの見える化を図ります。

目 程

12:30～	受 付	16:00～17:45	分科会
13:00～13:15	主催者・来賓挨拶	第1分科会	集会室A
13:15～13:25	オリエンテーション	第2分科会	集会室B
13:25～14:05	基調講演	第3分科会	第1会議室
14:05～15:45	パネルディスカッション	第4分科会	第2会議室
15:45～16:00	休憩・分科会移動		

プログラム

開会・挨拶

主催者挨拶：奈良県社会福祉法人共同事業運営理事会 会長 辻村 泰範
来賓挨拶：奈良県知事 荒井 正吾 氏

オリエンテーション

事業の取組報告・加入案内

基調講演

「社会福祉法人だから果たせる地域における役割」
～香川おもいやりネットワーク事業の取り組みから見えてきたもの～
講師：香川おもいやりネットワーク事業 事務局
社会福祉法人香川県社会福祉協議会 事務局次長 日下 直和 氏

【ねらい】

社会福祉法人は地域の中でどのような役割が果たせるのか。香川おもいやりネットワーク事業の取り組みから、社会福祉法人が地域貢献活動に取り組む意義等を再確認するとともに、地域の様々な課題に幅広く対応するための支援ネットワークの必要性等について考えます。

※香川おもいやりネットワーク事業

香川県内の社会福祉法人施設・社会福祉協議会・民生児童委員等がつながり、「生活のしづらさ」を抱え支援を必要とする方を「地域でトータルにサポートする仕組み」をつくり、「香川型“福祉でまちづくり”」をめざした事業。平成27年4月から実施。

パネルディスカッション

「奈良県社会福祉法人共同事業が目指すべき今後の方向性を探る」

～リーディング事業の取り組み成果と課題を踏まえて～

○趣旨説明

奈良県社会福祉法人共同事業運営理事会理事 松下 員範（奈良県社協事務局長）

○パネリスト

社会福祉法人祥水園 介護チーフ 松本 昇 氏

社会福祉法人奈良県手をつなぐ育成会 支援部部長 柏木 要 氏

社会福祉法人奈良市社会福祉協議会 地域支援課課長補佐 触澤 アトム 氏

○コーディネーター

奈良県社会福祉法人共同事業運営理事会会長 辻村 泰範（宝山寺福祉事業団理事長）

○助言者

社会福祉法人香川県社会福祉協議会 事務局次長 日下 直和 氏

【ねらい】

奈良県社会福祉法人共同事業では、3つのリーディング事業（レスキュー事業・ユニバーサル就労事業・地域食堂事業）に取り組んでいます。各リーディング事業の実務者チームでは、ニーズ把握や支援等のあり方について、試行錯誤しながら実践を展開しています。

本パネルディスカッションでは、

①実践から見えてきた成果や課題の総括を行う、

②奈良県社会福祉法人共同事業に参画している目的や意義について確認し、今後の方向性や事業展開を探る、

ことをねらいとします。

休憩・分科会移動

分科会

第1分科会「社会福祉法人だからこそできるユニバーサル就労（中間就労）の実践」

ひきこもりや社会的孤立など様々な生きづらさを抱えた人たちの「働くこと」を支援するユニバーサル就労（中間的就労）の実践について考えます。

～大阪府社協老人施設部会社会貢献事業推進委員会を招いて～

◆リレートーク&情報交換

奈良県会員法人及び大阪府ゲスト法人

第2分科会「食を通じた居場所づくりを考えるー地域食堂×こども食堂ー」

社会福祉法人が地域の居場所づくりに貢献する「地域食堂」と、こどもを真ん中においた地域の居場所づくりをめざす「こども食堂」。「食を通じたあたたかな居場所」をめざす両者の実践交流を行い、相互の活動のヒントや今後のコラボレーションの可能性を探ります。

◆リレートーク（地域食堂、こども食堂の実践現場からのレポート）

◆情報交換（食を通じた居場所を取り巻く実践と課題の共有）

第3分科会「制度の狭間等のニーズへの対応を考える」

制度の狭間等にある、喫緊に支援が必要な方に対する、社会福祉法人が有している専門性や社会資源（ヒト・モノ・カネ・情報等）、関係機関・団体とのネットワーク等を活かした支援のあり方について考えます。

◆リレー報告

「まほろばレスキュー事業（緊急一時支援）のモニタリングの取り組み」（奈良市和楽園）

「相談ニーズ・地域ニーズに寄り添う支援の取り組み」（青葉仁会デリカテッセンイーハトーヴ）

「総合相談・支援事業の取り組み」（香川県社会福祉協議会）

◆情報交換

第4分科会 研究チームキックオフ!!「地域生活を支える社会福祉法人による後見的支援」

判断能力が不十分なために、ふだんの暮らしに不安を抱えていたり、必要な制度等につながない人が増えています。そこで、地域の社会資源でもある社会福祉法人として何ができるのか、福祉現場で感じている課題を持ち寄り、後見的支援の可能性について研究協議します。

◆現状認識（県内の取り組み状況について）

◆課題共有（実践現場から見えてくる課題について）

◆意見交換（研究チームの取り組み方針について）

参加申込

平成30年1月30日（火）

別紙参加申込書により、奈良県社会福祉法人共同事業事務局へFAXまたはメールでお申し込み下さい。

参加費

無 料

開催場所

奈良県文化会館 小ホール、集会室A・B、第1・2会議室

〒630-8213 奈良県奈良市登大路町6-2

TEL:0742-23-8921 / FAX:0742-22-8003

参加対象

奈良県社会福祉法人共同事業会員法人、社会福祉法人（施設・社協）役職員、県・市町村担当者、NPO・ボランティア、マスコミ関係者、その他関心のある方等

定 員

200名

参加申込・ お問い合わせ等

奈良県社会福祉法人共同事業運営理事会 事務局

【社会福祉法人奈良県社会福祉協議会 総務企画課（担当：前坂・岡村）】

〒634-0061 奈良県橿原市大久保町320-11

TEL:0744-29-0100 / FAX:0744-29-0101 / Emai:soumu@nara-shakyo.jp